

ホームページをご覧ください

ボランティアグループのYCC(湯浅コンピュータークラブ)が運営されている「わが町湯浅」のサイトに、本協議会の活動が掲載されています。これまでに発行したまちなみ瓦版や、甚風呂の紹介などを見ることができますので、ぜひご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.yuasa-cc.sakura.ne.jp/>
検索キーワード：「YCC湯浅」



甚風呂からのお知らせ

伝統的な建物の有効活用を図るため、甚風呂の活用を希望する方を募集しています。夏から行っている「豆わらじ作り体験教室」や、11月と12月に行った「紙芝居と絵本の読み聞かせ」のように歴史のある建物を活かした取り組みをしてみませんか。興味のある方は、役場まちづくり企画課(64-1112)まで。営利目的での使用はできません。



～豆わらじ作り体験教室の1コマ～



～紙芝居と絵本の読み聞かせの1コマ～

また、毎週土曜日午前10時00分から豆わらじ作り体験教室を開催していますので、興味のある方は甚風呂までお越しください。講師の都合により中止となる場合があります。

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思っております。ご意見・ご要望などございましたら、右記編集委員まで連絡をお願いします。

【編集委員】

- 楠山 吉雄
- 半邊 宗五
- 妻木 禎子
- 齋藤 春太郎(特別委員)

まちなみ瓦版

平成24年1月4日
第9号(新年号)
発行:湯浅伝建地区保存協議会
発行責任者:木下 智之

新年のごあいさつ

昨年は、伝建協近畿ブロックの町並み保存技術研修会が、湯浅で開催され、5周年を記念する年になりました。

今年は、特にまちなみ整備事業として、北鍛冶町・北町の県道の舗装改修や、長年の懸案だった北中町の小路の舗装改修が実現に向けて、前進する一年になりそうです。

また、新たに伝建地区に観光案内所を設置する方向で、計画が進んでいます。これも、昨年4部会に分かれて委員の皆様方が、真剣に協議し行政に強く働きかけた賜物だと、感謝致しております。

本年も皆様方が、暮らしやすい伝建地区を目指して、活動していく所存です。



湯浅伝建地区保存協議会
会長 木下 智之

湯浅伝建地区保存協議会視察研修 in 滋賀県

11月25日(金)に滋賀県の五箇荘金堂伝建地区へ視察研修を行いました。ボランティアガイドと金堂まちなみ保存会の西村理事長や役員の方々に町並みの案内をしていただきました。五箇荘は、道路の美装化等の町並み整備も進んでいるところで、参加した委員から「費用はどれくらいかかるのか」や「普通のアスファルトに比べ耐久性はどうか」と質問が出るなど積極的に学ぼうとする姿が見られました。



町並みを散策後、金堂まちなみ交流館にて現地保存会の方々と意見交換を行いました。

先方から、修理・修景事業を行う際のデザインなどについて、住民と行政の間に入って話を聞き、アドバイスをするといったクッションのような役割になれるよう活動していることや、「子どもまち探検」や「水路へのコイの放流」など愛郷心を育てる取り組みなどを説明していただきました。

重伝建選定5周年の節目を迎え、一段上のまちづくりを進めていく上で、先進地の事例を学ぶことはとても重要です。今回の視察研修を終えての感想等の一例をご紹介します。

～視察・意見交換会を終えて～

- ・湯浅は、醤油発祥の地として知名度が高い上に、ブランド力を持っている。地の食材を活かしたグルメを使ったまちおこしもできると思うので、将来性を感じている。(木下会長)
- ・五箇荘を見習い5～10年先を見据えたまちづくりを進めていきたい。(太田副会長)
- ・年々湯浅の知名度が上がってきている。どういう町にしたいのかという目標を設定し、計画をしっかりと練ってまちおこしをすすめていきたい。(半邊副会長)
- ・道路舗装などに多額のお金が使われていると感じた。お金をかけなくてもできることを創意工夫してやっていきたい。(三橋副会長)
- ・会費を払っても大勢の方が入ってくれるような組織作りが必要と感じた。(楠山委員)
- ・五箇荘の町並みは素晴らしかった。(上野貞代委員・岡田委員・若狭委員)
- ・伝建地区だけでなく町民全体でまちおこしを進めれば湯浅はもっと発展する。(上野敏代委員)
- ・湯浅も見どころができてきているので、これからもっとよくなっていく。(蔵野委員)
- ・これから町を引っ張っていく人材の育成が必要と感じた。(上野山委員)
- ・住民からの相談窓口になるという保存会の取り組みに感心した。これから保存と活用を進めていきたい。(戎 保存審議会会長)



香川県からの視察研修を受け入れしました

11月16日(水)に東かがわ市引田まち並み保存会の委員22名が湯浅へ視察に来ました。今回の視察の目的は、行政との関わり方や、空き家対策などについて湯浅伝建地区保存協議会の取り組みを学びたいということで、対応にあたった半邊・三橋両副会長の説明を熱心に聞いていました。引田まち並み保存会の山田会長は「地元ができることを聞いて良かった。日帰りで行ける距離にあるので、これからも交流を続けていきたい」とおっしゃっていました。引田は、将来的な重伝建選定を目指しているところで、海に近く、古い町家が残っている点が似ている湯浅に親近感を覚えた様子でした。



今年も3校合同伝建地区学習会を行いました

11月29日(火)に町並みの散策を通じて、湯浅の歴史と文化を学ぶことを目的とした山田・田栖川・田村小学校5年生の3校合同伝建地区の学習会が行われました。伝建地区を実際に歩いて地元の方とコミュニケーションをとったり、金山寺味噌の製造過程も見学させてもらったりなど、普段教室では学ぶことのできないことに大喜びしていました。

散策後は、班ごとに学んだことをまとめるグループワークを行い「今でも木でできた古い家がたくさん残されている」や「いろいろなことを訪ねてもみんな親切に答えてくれた。地元の人はやさしい」などふるさと湯浅の魅力を発見した様子でした。子どもたちに湯浅のことを知ってもらい、愛着をもってもらうことはとても大切だと思います。



JICA研修生が伝建地区に来られました

12月1日(木)にJICA(国際協力機構)の研修の一環で南スーダン政府の役員3名が伝建地区に来ました。醤油の作り方や歴史ある町並みの見学など、日本の伝統文化に触れとても喜んでいました。和歌山県へは、別の目的があつて来ていたのですが、せっかくの機会に国の重伝建に選定された町並みを視察してもらおうということで来町する運びとなったそうです。和歌山にあれば湯浅を見るという風に、湯浅の知名度は年々高くなってきています。



～次年度以降の保存修理事業に向けて～

次年度以降の保存修理事業を進めていくため、12月に文化庁調査官による現地指導と、湯浅町伝統的建造物群保存地区保存審議会(以下、保存審議会)が行われました。来年度は、修理事業4件と新築修景2件が予定されており、今回行われた現地指導と保存審議会の内容を反映し、国などで予算が確保できれば、4月以降の事業着工が可能となります。年々町並みがきれいになってきており、とてもうれしく思います。